

広島交響楽団 第442回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 442nd Subscription Concert

秋山和慶 指揮活動60周年



指揮
秋山和慶
Conductor: Kazuyoshi Akiyama

スヴェンセン ノルウェー狂詩曲 第4番作品22
アッテルベリ 交響曲第5番ニ短調作品20
「葬送交響曲」(日本初演)
ピアノ協奏曲 変ロ短調作品37

Aftenberg: Symphony No.5 in D minor Op.20 "Sinfonia funebre" (Japan-Premiere)

Svendsen: Norwegian Rhapsody No.4 Op.22

アッテルベリ(没後50周年)

Aftenberg: Piano Concerto in B-flat minor Op.37



ピアノ
福岡洗太郎
Piano: Kotori Fukuma

©Masaaki Hiraga



秘曲に光

秋山和慶の指揮活動60周年を祝福して、時代に埋没した名作を発掘する、北欧作品日本初演シリーズ。没後50周年を迎えるアッテルベリの秘曲2作品を一挙演奏。そのバールを解き放つ。中でも「葬送」の標題に由来する交響曲の第2楽章は涙腺崩壊間違いなしの感動もの。福岡洗太郎が挑戦する劇的コンチェルトにも期待。この曲にもし標題を授けるとすれば「情熱」が相応しい。

チケット(税込/全席指定)
S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2024年4月15日(月)
プレイガイド/
ローソンチケット(Lコード:60002)、チケットぴあ(Pコード:265-249)、広響事務局

2024.6.14(金)
18:45開演 [17:45開場] Friday June 14, 2024
Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

コンサートマスター:三上亮
Concertmaster: Ryo Mikami

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

公益財団法人 合人社財団

広島のパワフルを創造する
プレミアム協賛/ 広島電鉄

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ
広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>



広響公式HP

秘曲に光

指揮
秋山和慶 Conductor : Kazuyoshi Akiyama

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。翌年東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。また、NYフィル、ポストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、フィラデルフィア管、スイス・ロマン管など世界の一流オーケストラに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

2024年指揮者生活60周年を迎えた。



ピアノ
福間洸太郎 Piano : Kotaro Fukuma

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウイグモア・ホール、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソス)などをはじめ多数録音しており、2023年にリリースした通算19枚目の最新CD「幻想を求めてー スクリャービン&ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州のInternational Classical Music Awardsにノミネートされた。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ『レア・ピアノミュージック』のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあばweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」などメディア出演も多数。第39回日本シヨパン協会賞受賞。2024年、日本デビュー20周年を迎え、秋に記念ツアーを予定。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>

公式ファンクラブ <https://shimmeringwater.net/>



助成:公益財団法人アフィニス文化財団

「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

第2代音楽監督であった渡邊曉雄以来、多くの北欧作品を採り上げ、日本初演も多くなし遂げられた広島交響楽団。即座には関係の見えにくい広島と北欧の取り合わせには、実はすでに長い歴史がある。その広響が、近代スウェーデンを代表するアッテルバリの没後50年を記念して送る気鋭のプログラム。近年とみに巨匠感を増してきた秋山和慶が、いまもっとも強く密な結びつきを誇っているオーケストラと、全幅の信頼の上に聴かせる名演への期待は大きい。

長木 誠司(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員)

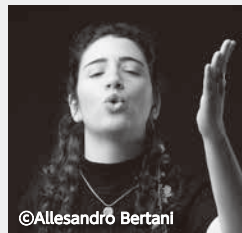
次回予告 第443回定期演奏会

2024.7.13(土) 15:00開演
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール

バルトーク: 舞踏組曲 Sz.77

ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲第2番嬰ハ短調作品129

ファジル・サイ: 交響曲第5番(日本初演)



©Alessandra Bertani



指揮: ニル・ヴェンディッティ ヴァイオリン: 服部百音